

PRESS RELEASE



やまがたの上質ないいもの。
その魅力をもっと伝えたい。
この新しいブランドマークを旗印に、
山形のいいものの魅力を伝えていきます。

令和6年2月9日

県政記者クラブ報道機関 各位

山形県産業労働部産業創造振興課

地域課題解決を通して事業創出を目指す
山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業
事業創出第12弾
持続可能なエネルギー循環社会を目指す
「ヤマトダマ」試験栽培 開始

令和4年度から実施している「ソーシャルイノベーション創出モデル事業」通称：Yamagata yori-i project(以後、yori-i project)では、新規事業創出の第12弾として、耕作放棄地の活用とエネルギー資源の確保を目指し、(株)オウルテスが開発したバイオマス燃料特化の早生樹「ヤマトダマ」を、(株)かねやま須藤農園が連携して試験栽培することになりました。

つきましては、下記により記者発表を行いますので、取材・報道についてよろしくお願いいたします。

記

日時：令和6年2月13日(火) 10時～11時

場所：金山町農村環境改善センター (金山町金山571)

- 出席者：
- 株式会社オウルテス 代表取締役 藤村 慎一 氏
 - 株式会社かねやま須藤農園 農園長 須藤 典夫 氏
 - 山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター センター長 教授 小野寺 忠司

■ 概要

最上地域のエネルギー移輸出入額はマイナス 27 億円（金山町、真室川町、鮭川村の 3 町村のデータを合算／RESAS「地域経済循環図（2018）」から本プロジェクトが独自算出）となっており、エネルギー源を地域内で確保できず、地域資本が流出しているという現状がある。

この課題を解決するため、バイオマス燃料を作ることに特化した「ヤマトダマ」を試験栽培し、地域内でのエネルギー確保に向けた取組みを進める。

併せて現地に合った栽培方法の検討を行い、耕作放棄地の利活用も目指す。

■ 「ヤマトダマ」とは

バイオマス燃料を作ることに特化した新品種の植物で、半年で6メートルまで成長するため、植えから燃料化までが短期間で生産効率が高い。

ひと粒の種子から 300～500 粒の種子を収穫できるため、大量生産が可能。

品種登録を取得し、25 年の権利を保有している。



■ Yamagata yori-i project について

yori-i project は、産学官や産業などのセクターを超えた力を結集しデータを基に取り組む課題解決手法「コレクティブ・インパクト」を軸に、多様化する地域課題の解決やそれに伴う新規創業・事業創出を活性化していくプロジェクトです。活動に共感頂いた行政・企業・個人がボードメンバーとしてプロジェクトに参画しており、その数は現在、150（個人含む）に及んでいます。

<参考 URL> <https://yori-i.org/>

担当：産業労働部 産業創造振興課
スタートアップ推進室
室長補佐 渡邊 (023-630-2364)
報道監：産業労働部次長 岡崎